

働くことの意義(働くとは何か)を考える
——職場での礼節・マナーとは——

経済同友会
林 明夫
(www.kairin.co.jp)

1. はじめに—自己紹介・私の好きな言葉—

- (1) —一生勉強・一生青春
- (2) ブルドック魂(食いついたら離すな)
- (3) 練習で泣いて試合で笑え
- (4) 練習は不可能を可能にする
- (5) —所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組む)
- (6) 人生逃げ場なし
- (7) 会った人は皆友達
- (8) いつまでも若々しく生きる
- (9) 目には遠いが心は近い

Q. 皆さんの好きな言葉は何ですか。教えてください。

A.

2 . 働くことの意義(働くとは何か)を考える

(1)何のために働くのか

生活できるだけの収入を得るため

自己実現をするため

(2)仕事とは世の中のお役に立つこと、お客様のお役に立つこと

お役に立つとは、世の中の問題やお客様の立場に立って考えた上で、

(ア)世の中の問題解決になること

(イ)お客様の問題解決になること

結果を出さなければお金はもらえない。収入を得ることはできない。

3 . 世の中やお客様のお役に立つ(問題解決をすることでお役に立つ)だけの結果を出すためにはどうしたらよいか。

(1)世の中やお客様のかかえる問題とは何かを世の中やお客様の立場になって知る努力をし続けること

(2)世の中はどのように動いているかを知ること

新聞を毎日たんねんに読むこと

TV やラジオのニュースを熱心に視聴すること

現場に行って実際に見聞すること

(3)お客様は何に困っているかを知ること

お客様から話を聞くこと

仕事の現場に行き、お客様の立場でものごとを考えること

- 相手の立場に立つこと - 観

(4)自分の仕事は何の役に立つかを知ること(使命感をもって働くこと)

4 . 現場での礼節、マナーとは一躰(しつけ)を身につけること—

(1) 現場には定刻前に到着する一時間前に到着するのも能力—
早寝、早起き、朝ごはん)

トイレは済ませる

交通事故に気をつけて「元気」に出勤する

(2) 人の話を相手の目を見てよく聞き、「理解」(うんなるほど)するよう努力する
話しの内容はできるだけメモ(ノート)を取る
* メモ(ノート)が取れるのも能力

メモ(ノート)した内容を何回も読み直し、身につけるのも能力
* 「音読練習」「書き取り練習」で定着を

「理解」し、「定着」したことを実際に仕事に使える(「応用」できる)のも能力
* 教えて頂いたことをどんどん使ってみよう

(3) 躰(しつけ)とは
たちいふるまい
美しい立居振舞い(服装第一)

敬語表現(けいごひょうげん)を含む言葉遣い(ことばづかい)
(ア)です、ます調でていねいに話ができること

(イ)「あいさつ第一」

(4) 5S
整理(せいり)

整頓(せいとん)

清掃(せいそう)

清潔(せいけつ)

躰(しつけ)

5. おわりに—講師からのメッセージ—

(1) 学校での教科書の勉強は世の中に出てすべて役に立つ。学校での教科以外の勉強・活動も社会に出てすべて役に立つ。学校での勉強や活動はすべて世の中に出て役に立つ。しっかりと教科書の勉強と、学校での様々な活動に参加して立派な人間に育ててほしい。

(2) 中学校時代の友人は一生の友達。中学校の先生は一生の先生(恩師)。友達とは仲良く、先生は尊敬をもって教えをうけること。

(3) 健康第一(心の健康、身体の健康)

(4) 「学力の高い人」は次のようなことをやっています。

読書による思慮深さ(しりょぶかさ)、自らを振り返る能力を身につけている

(ア) 本格的な読書を

(イ) 図書室や図書館を使いこなす能力を身につけよう

(ウ) 「書き抜き読書ノート」をつくろう

新聞を読んで自分の力で考えることができる

「批判的思考能力」(critical thinking クリティカル・シンキング)を身につけている

(ア) 新聞は毎日 40 分～ 60 分は読もう

(イ) 図書館に週に 1 回以上行き、いろいろな新聞を読み比べよう

(ウ) 新聞を切り抜き「スクラップブック」をつくろう

勉強の仕方、一度理解したものをどのように身につけるかをいつも研修して、どんどん実行している

「学び方を学ぶ」能力を身につけている

(5) 「自己責任」「自助努力」—自分の未来は自分の手で切り開こう—

ただし、無理は禁物(きんもつ)

「人生長い。ゆっくり歩きながら考えよう。」

以上

御清聴を感謝申し上げます。